



粉モノバトル開催!!



第2回

荒川フード フェスティバル

2011年9月18日(日)

日暮里駅前イベント広場

10:30~15:30

報告書

社団法人東京青年会議所 荒川区委員会

2011年12月

1. 御礼

皆様におかれましては、平素より社団法人東京青年会議所、ならびに社団法人東京青年会議所 荒川区委員会の活動に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。おかげ様で、2011年9月18日(日)、日暮里駅前イベント広場にて行いました「第2回荒川フードフェスティバル」は、好天にも恵まれ、大成功いたしました。ご協力、どうもありがとうございました。

本事業は、荒川の観光要素としての、多文化が共生した「多様な食文化」を市民の皆様にアピールし、荒川区の活性化につなげるため企画させていただいたものです。アンケート結果からも、着実に、荒川の食文化への注目を集めることができたと考えております。

2012年9月には、第3回を企画させていただく予定です。さらなる荒川区の発展のため、何卒、今後ともご協力、ご指導、ご鞭撻いただきますよう、お願い申し上げます。

社団法人東京青年会議所 荒川区委員会
2011年度 委員長 田村 学彦

2. 事業概要

事業名称：第2回荒川フードフェスティバル

～多文化グルメの街、荒川へようこそ！～

日時：2011年9月18日(日) 10:30～15:30

場所：日暮里駅前イベント広場（東京都荒川区西日暮里2-24）

主催：社団法人東京青年会議所

東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館2F（TEL：03-5276-6161）

主管：社団法人東京青年会議所 荒川区委員会

後援：荒川区・東京商工会議所 荒川支部・財団法人荒川区地域振興公社
株式会社ぐるなび

協力：NPO法人イノベーション・ネットワーク

荒川区国際交流協会・荒川区商店街連合会・千葉県立現代産業科学館

3. 出展ブース

- ブース1 又一順（炒麺・炒米粉・餃子・焼売）
- ブース2 豚王（トンキング）（チヂミ・豚肉炒）
- ブース3 卵月（サーターアンダギー・卵焼き）
- ブース4 110（イトウ）（変わりもんじゃ）
- ブース5 SAYASAYA（タイ焼きそば）
- ブース6 虎屋のたこ焼（たこ焼き）
- ブース7 北京餃子房（中国料理）
- ブース8 自然エネルギー・クッキング（ソーラークッカー実演 蒸しパン）
- ブース9 友民（お好み焼き・もんじゃ）
- ブース10 京の華（焼小籠包）
- ブース11 東京正直屋（イタリアン焼きそば）
- ブース12 金葉（肉巻・点心）
- 音響ブース
- 本部ブース
- 飲食コーナー（6ブース）
- 飲食コーナー内 日本バーテンダー協会上野支部（飲料販売）

4. ステージ出演者

- 草鞋（KAZU・SUZU）（双子タップダンスユニット）
- 下町発信シンガー 洋美
- 牛島 隆太（エイベックス所属歌手）
- 大野 晴香（もんじゃの歌）
- Cossami minami & 大野晴香
- 申忠磊（シンチュウレイ）（カンフーチャンピオン）
- 春一番

5. ご挨拶いただいたご来賓 (肩書は事業当時)

特別区長会会長 荒川区長 西川太一郎 様
都議会副議長 東京都議会議員 鈴木貫太郎 様
東京都議会議員 滝口学 様

その他、行政および関係諸団体から多くのご来賓の方にご来場いただきました。
どうもありがとうございました。

6. 事業の検証

(アンケート結果) アンケート回収数 169 枚

- ※ 割合は問題ごと未回答者を除き、小数点第 2 位を四捨五入して記載しています。
丸め誤差のため合計が 100%にならない場合があります。

<年齢構成>

10 代以下 21 人(12.6%)、20 代 32 人(19.2%)、30 代 29 人(17.4%)
40 代 26 人(15.6%)、50 代 32 人(19.2%)、60 代以上 27 人(16.2%) 未回答 2 人

<お住まい>

荒川区内 84 人(54.2%)、東京都(荒川区外) 51 人(32.9%)、都外 20 人(12.9%)
未回答 14 人

<所属>

社会人 62 人(38.5%)、主婦 34 人(21.1%)、学生 26 人(16.1%)、青年会議所
メンバー 14 人(8.7%)、行政 5 人(3.1%)、その他 20 人(12.4%)、未回答 8 人

<荒川が「食の街」というイメージを持ちましたか?>

大いに持った 51 人(32.5%)、少し持った 84 人 (53.5%)
持たなかった 22 人(14.0%) 未回答 12 人

<自由感想文(抜粋)>

回数を増やしてほしい。月1で。がんばって継続を。(同様多数)

区外へPR(区内だけでやらない)ケーブルTVで宣伝等知名度を上げてください。
駅前で行きやすい、飲食席が少ない。座席が観客席となり座って食べられない。
荒川区の住民として応援します

おいしかった。荒川区の特色を知ることができた。

暑かった。日陰にイスとテーブルが、また飲み物・スイーツがもう少し欲しい。

小規模ながらとても楽しかった。食べながら歌が聴けて楽しかった。

粉ものに限ると、どれも味が似る。各国が良い。

明るいイベントで区がよりよくなる

コリアンのイメージなのでもう少しコリアンを。

(まとめ)

昨年の第1回アジアフードフェスティバルに続いた第2回目として、荒川区発祥のフードである「もんじゃ」を観光資源として着目し、そこから発展して、いわゆる「粉モノ」にこだわって開催をいたしました。

準備の遅れから、事前発信が不足したことは関係の皆様にお詫びを申し上げなければいけないと考えております。次回以降、出店していただけるお店の確定など、早い段階から行う必要があると感じました。しかしながら、当日は日暮里駅の協力もあり、区民を含めた多くの参加者を動員できました。

アンケート結果からも、本フェスティバルを通じ、86%が、荒川区が「食の街」であることに対して興味を持った点をとっても、荒川区独特の食文化を2年連続で行うことに対し、区民からの期待の大きさを感じることができました。アンケートにも、さらなる継続を求める声が多くありました。

同時に、今回「もんじゃの歌」を作成し、ケーブルテレビでとりあげていただき区民への認知を深めるなど、しっかりとやり続けることの重要性にも気づきました。イベントを通じて「食の街」という観光的な要素と、出店者を含め地域の商業的な発展といった側面からみても、非常に意味のある事業であったと考えております。

7. 当日 タイムスケジュール

- 9:00 各ブース準備開始
- 10:30 フェスティバル開始
- 11:00 ステージイベント開始
- 11:30 大会セレモニー(主催者およびご来賓挨拶)
- 12:30 ステージイベント
- 14:50 粉ものバトル結果発表
- 15:30 終了

8. 来場者数

パンフレット配布数 1400 枚から、1400 名と推計。

※ 各飲食ブースの来場者数を合計すると、延べ 3000 名程度です。

9. ソーラークッカーについて

千葉県立現代産業科学館のご協力により、ソーラークッカーを 4 台無償で借り受け、太陽熱によるエネルギーで蒸しパンを制作する実演を行いました。

多くの親子連れが、自然エネルギーでのクッキングに大変興味を持ち、仕組みを覗き込んでいました。地域の大人と子どもの交流が、本装置のまわりで自然発生し、和やかな空気でおいしい蒸しパンを皆で食べました。



10. 当日写真集



入口看板



主催者あいさつ



いわき市から参加、虎屋のたこ焼



創作料理も。



ソーラークッカーに興味津々



100円もんじゃ



飲食
ブース



投票所



双子タップダンスユニット「草鞋」



区長挨拶



荒川粉ものバトル(AKB) 表彰！